

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界へのプレゼントになろう
Be a Gift to the World



「どう生きるか」諸事を見直して
実践しよう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン 2015～2016 富津中央RC会長 千葉 一利
国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2445 第48回例会 2016. 6. 23 雨のち曇

点 鐘：千葉一利 会長
進 行：白石幸久 SAA
ソング：それでこそロータリー
お客様：臨濟宗妙心寺派佛母寺住職
松原覚樹 様

会長挨拶

千葉一利 会長



皆さんこんにちは。今日を入れてあと2回となりました。これまでやってこられたのは、皆様のご協力のおかげです。特に幹事の高橋さんありがとう。九州方面は集中豪雨で大変でしょう。地震で地盤が緩み、そこに大雨は危険です。被害にあわれた方々には心よりお察し申し上げます。

今日は鹿野山佛母寺のご住職 松原覚樹氏をお招きし、お話を聞きます。後ほど、三井会員からご紹介があると思います。以前話したことですが、私の家は真言宗智山派でお寺は関豊にあります。その寺は摩尼山東光院薬師寺といえます。寺の大

小にかかわらず山号、院号、寺号があるそうですがなぜでしょうか。山、院、寺には何か意味があるのでしょうか。また、お経は難しくてわかりません。わからないほどありがたみがあるといいますがわかるお経ってないものではないでしょうか。こんな低次元の質問にもし、時間がありましたら教えていただきたいと思えます。ご多忙のところようこそおいで下さいました。よろしくお願ひします。

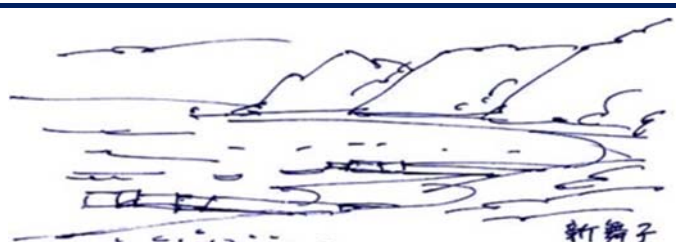
幹事報告

高橋裕之 幹事



1. 君津RC例会変更
7月11(月) 点鐘 18:00 夜間例会(直前会長・幹事慰労会および会員家族歓送迎会)
7月18日(月) 休会 定款第6条第1節c項
2. 袖ヶ浦RC例会変更
7月11日(月) 点鐘 18:00 直前会長・幹事慰労会

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館 Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>
Mail home@futtsuchuo-rotary.org



7月25日(月) 点鐘 12:30 小野ガバナー補佐訪問

3. 袖ヶ浦RC会報受領(回覧)

感謝状贈呈

千葉会長より下記4名の会員のそれぞれの功績に基づき感謝状が授与された。



若鍋武良、小野恒靖、三井進 石渡鋼 各会員

委員会報告

魁心書法院展のご案内

平野安照 会員



君津市在住の書道家、幕田魁心先生が、7月16日から18日にかけて、かずさアカデミアホールで展覧会を開催します。その中で共催される「五人展」に於いて、千種新田郵便局に在籍している鈴木さやかさんが、作品を出展する事になりました。富津市相野谷在住でまだ若いですが、一生懸命頑張って展示品を作っております。ご都合が付き興味がある方は、是非足を運んでいただけたらと思います。よろしくお願ひ致します。

お客様紹介

三井 進 会員



今日は、私が以前からは是非ともお呼びしたいと思っておりました仏母寺松原住職においでいただきました。佛母寺住職松原覚樹さんをご紹介します。

松原覚樹さんは東京三田の龍源寺という名刹にお生まれになりました。お父様が松原哲明さん、おじい様が松原泰道さんという高名な仏教者です。覚樹さんも、当然の如くして仏教の道にはいられ、現在はアメリカコーネル大学で教鞭をとられ、仏母寺の住職を兼務されています。

本拠をアメリカに置き、月に何回か帰国して住職を務める。その忙しい中をおいでいただきました。興味あるお話が聞けると思います。

卓話

「無住心の大切さ」

佛母寺住職 松原覚樹 様



「應無所住而生其心」ということばは、六祖慧能禪師の半生の物語に出てくる金剛経の一節である。「まさに住するところ無くして、しかもその心を生ずべし」と読み、禅林句集によると「一處に住することなく心を生ぜしめよ。何物にも執着することなく心を

はたらかせよ。無執着の心行。無念無心の自由な
はたらき」とある。広州の南にある新州の片田舎で、
貧しい農民の家に生まれた慧能は、病弱な母と二
人で住んでいた。ある日、慧能が薪売りに街まで行
くと、この言葉を大きな声に出して歩く人に出会う。
ハッとした慧能は、それは何というお経ですかと尋
ねると、その人は「金剛経」といい、黄梅山の五祖
弘忍禅師が千人にも及ぶ多くの弟子たちに提唱し
ていると教えてくれた。

五祖弘忍禅師を訪れた慧能はすぐに入門を願う
が、弘忍禅師は南の田舎者がどうして成仏が望め
るのだという。それに対して慧能は、人には北の人
と南の人がいるけれども、仏性に南北の差はありま
せん、と答えて弘忍禅師の目に留まることになる。

ある日、弘忍禅師は弟子たちに悟りの境地を詩に
してみなさいと問題を出した。一番弟子の神秀は
「身は是れ菩提樹、心は明鏡台の如し、時時に勤
めて払拭せよ、塵埃を惹かしむること勿かれ」と表
現した。一方、慧能は「菩提もと樹なし、明鏡亦台
にあらず、本来無一物、何の処にか塵埃を惹かん」
といった。慧能は本来無一物と詠み、無住心をつ
かみ、弘忍禅師から六祖に選ばれることになる。六
祖慧能禅師の誕生である。

無住心は「心には住むところがない」と書くが、言
い換えれば「心はどこにでも住むことができる」とな
る。無住心がゆえに、その心は自由にはたらくこと
ができる、と解せる。慧能の詩は、まさに「應無所住
而生其心」のその心を解いたといえる。

私は現在、サンフランシスコから東へ約30キロ離
れた、緑の美しいモラガという町にあるカトリック系
大学セントメリーズで「日本禅仏教」を教えている。
カトリック系の大学で「日本禅仏教」である。大変お
もしろい。学生は皆興味津々。こちらの用意として、
「このぐらいいは知っているよな」と思って授業に臨む
と痛い目にあう。ここは日本ではない。学生は日本
人ではない。ブッダって誰？ 釈迦牟尼って何？
の世界である。しかしZEN(ゼン)は大変人気で、ゼ
ン＝メディテーション、という感じだ。メディテーシ
ョンに興味があるのは、瞑想や黙想のコンセプトはキ
リスト教にもあるからかもしれない。特にカトリックで

はイグナチオ・ロヨラによる「靈操」という修行がある。
学生たちと坐禅をしていると、彼らにとって、「自分
の中にいる、もう1人の本来の自己との対話」という
禅的体験に大変興味があるように見える。もちろん
言い切る事はできないが、キリスト教における瞑想
はその最終目的が神の意志を聞くこと、つまり神と
の対話にある。つまり、自分の外側に神があり、そ
れに対して祈り、願うのに対して、仏教の場合は、
特に禅は自分の内側に清浄心(澄んだ鏡のような
心)があると信じて、それに目覚めることを目的とす
る。禅では、坐禅は自己の発見装置と位置づけるぐ
らいだ。こういった根本的な違いがあるにもかかわらず、
自分の内外に「本来の自己」や「神」といった
共に超越的存在を認めるという最大公約数が、何
か「共存するものが“ある”」と、学生たちを魅了する
のかもしれない。ゲーテの「私の中に神がいなかつ
たら、どうして天上の神をみることができよう」とい
う言葉の中にこのことを感じているかもしれない。

学生たちのバックグラウンドは、それは本当に様々
だ。人種のるつぼとはまさにこのことだ。このような
国際的な舞台では、宗派や宗旨にこだわらず、ま
ずは「仏教」という広い視野をもって活動していく
ことが大事である。キリスト教、ユダヤ教、イスラム教、
その他宗教、無宗教の人間たちと対話する際に、
そのような環境で宗派や宗旨からは入っていけな
い。まずは「仏教」という大きな傘をさすことが大事
になる。そして、学生たちが理解するまで、とことん
解(ほど)きつくして説明するのである。学生たちが
理解できなければ私の負けと自分に言い聞かせて、
ゲームが始まる。まるで冷凍保存食を解凍して食べ
られるようにすることと同じである。まさに「住するこ
ろ無くして、しかもその心を生ずべし」である。自然
と伝道に力が入る。

松原覚樹様の主な略歴

1995年 学習院大学法学部卒業

2001年 コーネル大学大学院アジア研究学科
修士課程修了

2009年 コーネル大学大学院アジア宗教研究学
科博士課程修了

2009年 臨濟宗妙心寺佛母寺副住職、カリフォルニア大学バークレー校仏教学部・仏教研究所講師

2013年 スタンフォード大学ホー仏教学研究soフェロー

2014年 コーネル大学東アジア研究所 Visiting Scholar 特任:任期制限なし

2015年 セントメリーズカレッジ冬学期専任講師

2016年 カーネル大学 Buddhist Chaplaincy 申請中

出席報告

志波 克 出席担当部長



ニコニコ BOX

原田雅式 親睦担当委員



千葉一利 松原覚樹氏佛母寺住職をお迎えて
 高橋裕之 〃
 小野恒靖 〃
 若鍋武良 〃

合計4,000円

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	27/25	17	7	3	80.00%
前回	27/26	22	4		84.62%
前々回	27/25	22	3		88.00%

総会員数：28名－休会1名＝27名

編集後記

今回は仏教の世界に身を置き、国内だけでなく国際的に仏教布教に活躍されている佛母寺住職松原氏の卓話を拝聴した。「無住心ゆえに、心はどこにでも住み、執着心を持たず、無念無心の自由な働きをえる」との言葉には含蓄があり、印象的であった。普段、雑事と喧騒の中で自分の内面に思い至る機会の少ないとき、時には瞑想し、禅の心に触れることの大切さをいまさらながら感じる機会となった。(すどう)

